

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2145回★★ 998.8mの山 (点名 恩原)	9月9日(火) 6:00 七条大宮集合	伊藤 潤治 (463-6936)	京都南IC-津山IC-加茂-恩原
平成9年9月9日に上記の山に行きます。 参加希望者は担当まで……。			
第2146回★★ 台高山脈 蘇岳(△1,406m)	9月13日(土) ~14日(日) 13日(土) 12:00 竹田駅北面出入口集合	井戸 澄夫 (内 810) (外 822-9175)	13日 竹田駅-(R24, 169)-上市-鷲家口 -大又(ヒュッテ台原) 14日 大又…蘇岳…大又- 帰路
山小屋素泊です。 夕食・朝食は共同購入します。 14日の昼食は各自で……。 費用は約7,000円です。			
第2147回★★ 古光山	9月20日(土) 7:00 竹田駅西口集合	三橋 勉 (581-3562)	竹田-(R24)-天理-針 -名張-曾爾村-長尾峠… 後古光山…古光山
昨年2月24日に雪で三角点まで行けなかったので再行するものです。			
今月の集会 日時 9月12日(金) 18:00 場所 厚生会館 4F 大教室		企画運営委員会 日時 9月18日(木) 18:30 場所 厚生会館 4F 大教室	



夏山のピークは7月末～8月初旬であるが、今年はその時期、台風の襲来やらで極めて天候が悪かった。小生も夏山大会に参加して、北アルプス薬師～黒部五郎～三俣蓮華～鷲羽～水晶～雲の平のコースに挑んだが、途中撤退を余儀なくされた。又、風邪で体調不全のまま登ったので、山上で高熱にうなされるという不祥事も演じてしまった。盆の頃は天候も安定して、夏山を楽しんだ人々が多かったようであるが、大陸の高気圧の張り出しによる安定であり、高い山々ではすでに秋風が立ち初めているようである。天候不順で迷惑をこうむったのは、登山者もさることながら、大勢のお客を見込んで準備していた山小屋の経営者であろう。夏山シーズンは最大の収益源であるだけに、雨空を見上げてさぞや恨めしかったであろう。

京都府下の各地では、高校総体（インターハイ）が開催されている。山岳競技は8月5日～7日まで、美山町周辺の北山北部の山域を舞台に行われた。競技の遂行にあたっては京都府山岳連盟が全面的に協力体制をとっており、京交山岳部も連盟の一員として、多数の部員に、出場選手の支援活動に参加していただいた。高校総体の山岳競技は4人の選手がチームを組んで、定められたコースを幕営しながら走破するもので、順位はタイムではなく、山行中のすべての要素を評価して定められる。サポート隊も選手達といっしょに山中を歩きまわり支援活動を行う。リハーサルも含めて、皆さん多くの日数を、仕事を調整しながら参加していただいたわけで、本当に御苦労様でした。

盆を過ぎ、すでに街を流れる風には秋の気配を感じる。今年の夏は早く行ってしまいそうである。

(H.9.8.17. 記 S.I)

京丸山，高塚山，蕎麦粒山

岡田茂久

京丸山 7月19日(土)

いつ頃のことだったろう。南アルプスの南端，遠州の山奥に京丸ポンジという山があるという話を聞いた。なんともけったいな山名で，強く印象つけられたものである。京丸山とポンジ山は別の山であると知ったのは，だいぶ後のことであった。

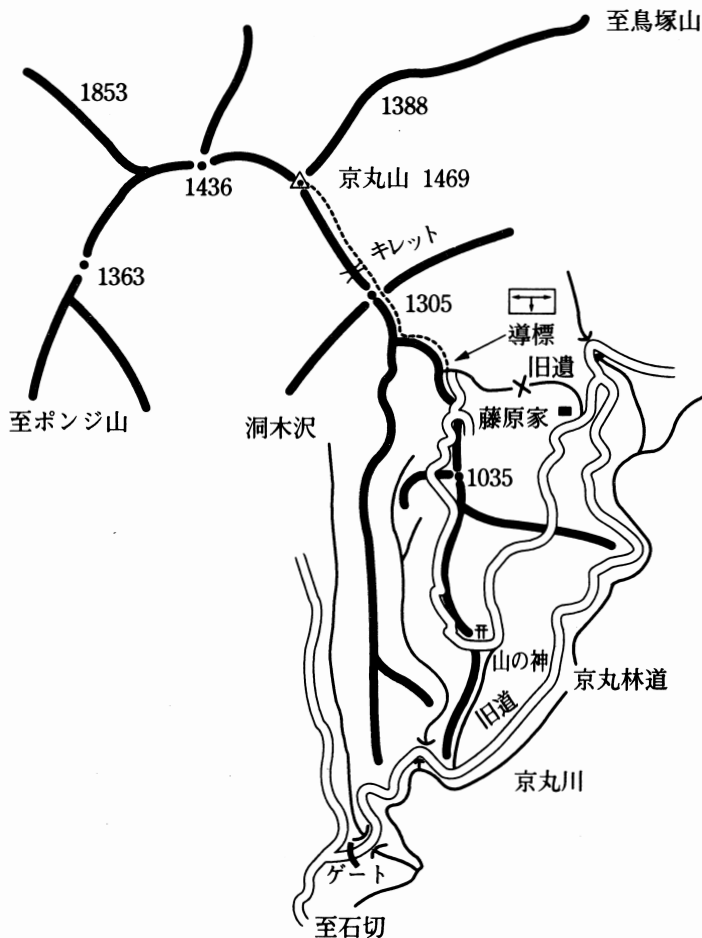
京丸山の山深くに京丸藤原家という一軒家があるという。京の都となにやら深い縁がありそうな謎の山名と苗字。その京丸山の険しい谷間の断崖には，唐傘ほどの大きさの牡丹が60年に一度だけ花開くという。京丸山牡丹という。それにまつわる悲しくも美しい伝承。これは是非とも訪れてみなくてはと思うようになった。

伝手を頼って，今は麓の春野町に住まいされる京丸藤原家に電話を入れてみる。旧京丸藤原家に至る京丸林道は，営林署が管理しているので，入山にも許可がいるとのことである。春野の営林署に許可を求めたが，例によって林道への車の乗入れは許して貰えない。結果的には藤原家のご好意にすぎることになってしまった。

山科を5時というと，夜更かし癖の体にはいささか辛い，名神に乗った時はもう朝日がまぶしかつた。浜松ICからR362を経て，春野町の藤原家には比較的早い時間に着くことができた。きれいな若奥さんがさりげなく「林道突き当たりの上に熊の檻が仕掛けてありますから用心してね。もし，熊が掛かっていたら手を出さずに連絡してね。ああそれと蛭がいっぱいいるから気を付けてね」におっかなびっくり。

京丸林道の起点である石切集落までは，舗装はされているものの，京丸川沿いに一車線の狭い曲がりくねった道が続く，林道は比較的手入れが行き届いている。京丸川支谷の洞木沢林道の分岐がゲートである。狭い林道をなおも進み，橋の手前の分岐を急角度に折り返して，ここだけコンクリート舗装の急坂を登ると京丸藤原家であった。山小屋程度を想像していたが，立派な作りの二階家で，京丸の文様の入った軒瓦が載っている。標高700m，山にへばり付くような小さな平地である。林道の無かった昔は，気田川沿いの村からの往還は大変な苦勞を要したであろう。

京丸山からの東南尾根，標高1,000m付近のコルまで藤原家専用の林道が拓かれている。このため，京丸藤原家の前からコルに至る旧道は廃道となってしまった。林道は一部が荒れているため，ここから歩くことになる。林道は京丸山東南尾根の750mの山の神の祠まで回り込み，緩やかな尾根を直登気味に登っている。強い日差しの中の林道は歩きは辛い。林道終点で昼食とする。



林道終点は広場となっており、目的の京丸山を見上げ、西にポンジ山、その肩に遠く秋葉山から龍頭山へ続く山並み、東北には明日に登る予定の高塚山から蕎麦粒山迄の稜線が拡がり、足下は林道が白く横切る京丸谷が落ち込んでいる好展望台である。

最低鞍部から登り返すと、洞木沢・山の神-京丸山-藤原家の標識に出会う。京丸藤原家の前からの旧道との合流点である。やはり旧道は茨が被さっていて消え去ろうとしていた。ここまで林道工事は進んでいる。ここから山道となるが、案に相違して道はよく踏まれている。すぐに檻があったが熊は掛かっていなかった。ちょっと期待していたものの反面ほっとした。

樹林帯入口に赤いプラスチックの東京営林局の標識がある。ブナや針葉樹の入り交じる樹林帯は案外の急登である。手前のピークを越え、ちょっとした岩稜のキレットの登り降りを2ヶ所越え、京丸山本峰の登りとなる。京丸山頂上は、広い範囲に下草がきれいに刈り取られているが、樹林に囲まれ展望はまったく無い。思い描いていた京丸山ではなく、まるで北山のどこのかのピークにいる感じである。久遠の京丸山に登った感激はなかった。

下りは早かった。途中あちこち見渡しても、大きな牡丹はおろか、季節がら小さな花も目に入らなかったが、京丸藤原家の手前の谷で汗を流した折、一番若いM君の足に真っ赤な花が、きっちり蛭だけは取っ付いてくれていた。

春野町に戻り藤原家に挨拶の後、明日の予定、高塚山の登山基地である山犬の段に向う。

中川根町へと越えるR 365はカーブと急坂の連続で、中川根町の上長尾から南赤石林道を登る頃には、さすがに疲れて皆が無口になる。南赤石林道は途中までは舗装であるが、舗装が切れ林道

が蕎麦粒山と大札山の鞍部を越えるあたりから、何ヶ所もが道路改修中で、断崖をへつる悪路となる。ガスが出てきて周囲を隠してくれていたのは幸いであった。翌日の降りでは登りを思い出して、改めて冷や汗がでてきたほどである。

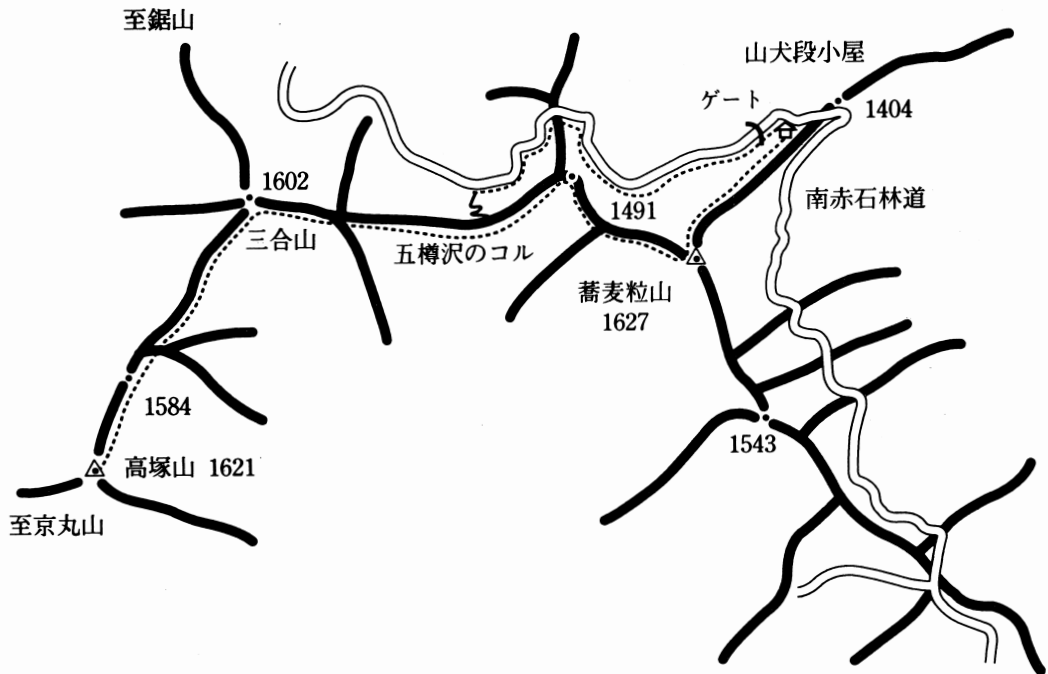
山犬の段の町営山小屋は、広くて美しい新築間もない小屋で今夜は貸切りである。快適な小屋で、大いに飲んで食べて久しぶりに大声で歌いまくった。

高塚山、蕎麦粒山 7月20日(日)

窓から差し込む朝日に驚いて飛び起きる。今日はガスも晴れ、雲も無い大快晴であった。昨夜の宴の後片付けも早々に、蕎麦粒山の西の鞍部である五樽沢のコルの登り口まで、ゲートを越えて南赤石林道を奥にたどる。林道からは眼下の目くらむような谷を隔てて、前黒法師が堂々と聳え、黒法師、朝日岳から大無間山までの大パノラマが展開する。林道行手正面の峨山が鋸山が印象的だ。

大きく尾根を回り込んで、高塚山と書かれた小さな標識から、砂利まで敷かれて良く手入れされた小径を五樽沢のコルに登り付く。

コルからは結構の急坂で、昨夜の宴の後遺症で結構息が切れるが、やがてブナやナラの大木が目につく平らな広い尾根となる。ここまで来て木々の間から谷を隔てて、目標のこんもりとした高塚山がやっと望める。木立が切れて笹原を切り開いた小広場が、鋸山方面への分岐である三合山である。



三合山の先から岩混じりの急坂を降り、緩い坂となる最低鞍部までは気分の良い道である。最低鞍部からは広い尾根の緩い登り道で、緑の花を付けたバイケイ草が目立つようになると頂上は近い。頂上は広い平地で周辺はバイケイ草の群落である。「日本山岳会選定－日本三百名山－高塚山」の標柱と高塚山二等三角点。おやっ、測量官のきまぐれか、三角点の文字が西面にして埋められているではないか。童仙房の牛塚山は北面だった。黒法師の三角点上の+は×になっていたと、ひとしきり三角点談義が賑やかである。

帰りは早い。あっというまに三合山まで戻ってしまった。日陰のない切り開きの三合山は、太陽が高くなるとさすがに暑い。

五樽沢のコルからコブを越えると、蕎麦粒山への最低鞍部。風の通り道でなんとも涼しい。蕎麦粒山への登りは思った程でもなかった。蕎麦粒山三等三角点。東面が大きく開け、眼下には大井川が白く光り、遠く続く山並みは身延山地の山々であろうか。富士山はと目をこらしてみたが、薄雲がかかり確認できなかった。

山犬の段までの広い登山道を掛け降る。さすが、好天候の日曜日、小屋の前の広場には十台近い登山者の車が駐車していた。さすがにあの悪路のことRV車ばかりである。

山犬の段から山鼻を回り込むと、陰谷を隔てて南赤石林道の下りが一望となる。えーっあそこを通るんか、昨夕はガスで見えなかったが、ころころと小さな落石が落ちるガレ、今にも林道ごと谷底にずり落ちそうな場所もある。なんともえらいところに道をつけたものだ。舗装道路まで下ってやっと緊張が解ける。

中川根から大井川に沿って、笹間戸温泉に向かう。笹間戸温泉は国道沿いの田んぼの中。そばを大井川鉄道の小さい車両がのんびりと走っていくのが望める。炎天下の午後の露天風呂はなんとも暑い。二日間の山行きの汗が疲れとともに溶けて行く。良き仲間との良き山、充実感一杯の山行きであった。

【参加者】

大槻雅弘 岡田茂久 方山宗子 松浦健治 三橋 勉 渡辺智生

【時間記録】

7月19日(土)

東IC [5:00] — 浜松IC [7:40] = 二俣(R362) = 春野町気田 [8:50~9:20] —
石切 [9:50] — 京丸藤原家 [10:15~10:30] …… 京丸林道終点 [11:25~11:50] ……
境界標識 [12:10] …… 京丸山頂 [13:15~13:40] …… 境界標識 [14:15] ……
京丸林道終点 [14:35~14:45] …… 京丸藤原家 [15:20] —
春野町気田 [16:00~17:00] — 中川根上長尾 [18:20] — 山犬の段町営小屋 [19:10]

7月20日(日)

◎山犬の段 [6:50] …… 登山口標識(林道) [7:20] …… 五樽沢コル [7:30～7:40] ……
三合山 [8:15～8:30] …… 高塚山 [9:05～9:45] …… 三合山 [10:15～10:25] ……
五樽沢コル [10:50] …… 最低鞍部 [11:05～11:25] …… 蕎麦粒山 [11:45～12:10] ……
山犬の段小屋 [12:30～12:50] — 笹間戸温泉 [14:10～14:45] —
東名牧野 I C [15:35] — 三ヶ日 S A [16:10～17:00] — 東 I C [19:35]

【第2142回例会】

夏山大会 北アルプス「薬師岳」

24日～25日

今年に限って忙しい年で、少しバテぎみである。しかしこの時期、夏山に行かなければセオリーに反する。

北アルプスの山で百名山に登っていないのは薬師岳、黒部五郎岳、鷲羽岳、水晶岳そして笠ヶ岳の5山で、今回はマイカー山行のため笠ヶ岳を割愛して4山を登るべく京都を出発した。

台風が日本に近づいて来ているようだが、まだ少し時間はかかるだろうと思っていた。北陸道を立山 I C まで走り有峰林道ゲート前に25日1:00に着く。ゲートは6:00に開くのでそれまで仮眠をする。

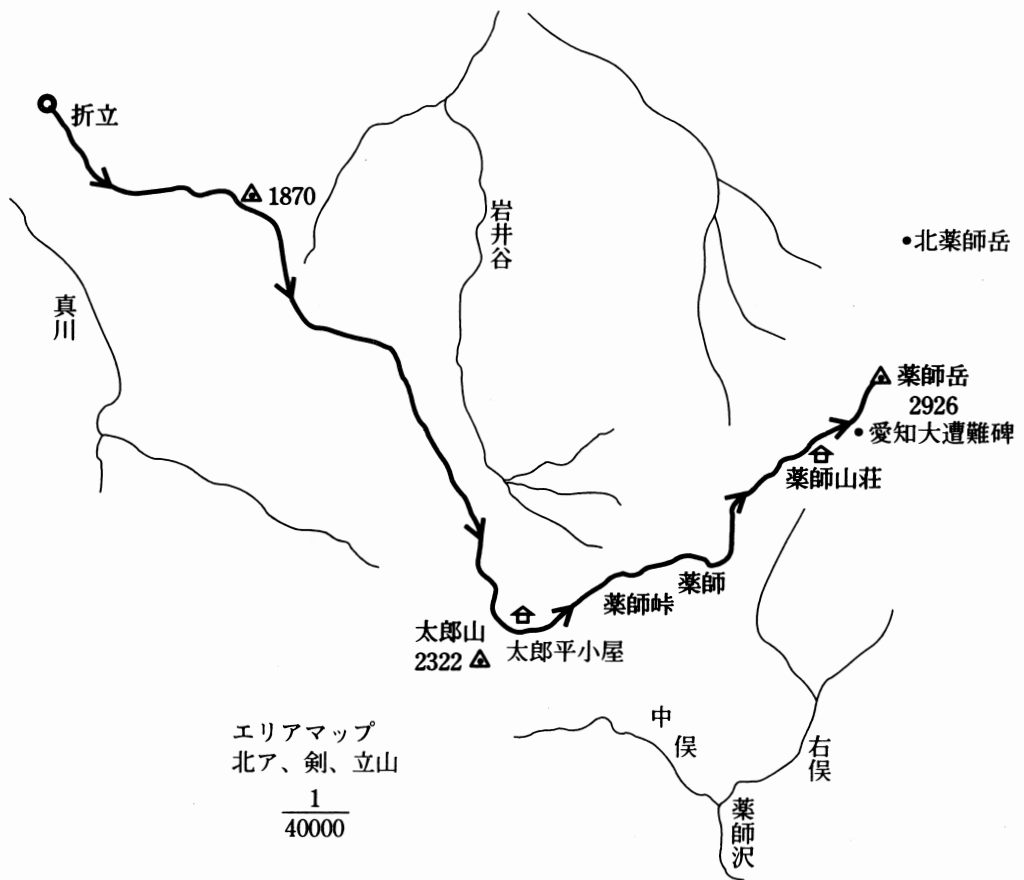
25日

林道通行料1,700円を支払い折立に向かった。折立には15台位車が止まっていたが、4日間車を止めておくため他の車より離れて駐車した。

折立からのコースは樹林帯の登りで三角点1,870mの広場まで来ると展望も開けてきた。360°の眺望で、大日岳、奥大日岳、剣岳、立山そして裾野に広がる弥陀ヶ原、正面には薬師岳が見える。後を振り返れば有峰湖の湖面が光っていた。この辺から足元には不規則な石がゴロゴロして歩きにくい道になった。しかしニッコウキスゲやコバイケイソウが咲き乱れ勇気づけられる。

コースタイムより早く太郎平小屋につく。宿泊のキープをして早速薬師岳に向かう。(井戸さんは熱が出てきたので小屋で待機)薬師峠のキャンプ場には学生達がテントを張っていた。

薬師平まで来るとまだチングルマが花を咲かせている。ハクサンイチゲは今が盛りだ。薬師山荘から上部は荒涼としたコースで急坂のジグザグ道である。愛知大学の避難碑を過ぎるとピーク



をトラバースぎみに登ると祠のある三角点2,926mについた。後立山連峰や水晶岳、南の方には槍ヶ岳や穂高が良く見えた。

太郎平小屋で泊まるので頂上でゆっくりと時間をとった。小屋につくと井戸さんが布団をかぶって寝ている。熱があるようだ。夕食前に臨時診療所で診てもらおう(大変ききめがあったようだ)。

少し風も強くなってきたようだが今考えても仕方ないので明日判断することにした。

26日

ラジオを聞けば四国に上陸するようなので、北アルプスのまん中で缶詰になってはならないので下山することにした。雨は降っていないが風が強く樹林帯に入るまでは安心して歩けなかった。帰りにR304の兼山温泉につかって帰った。

【参加者】 渡辺智生 井戸澄夫 馬淵拓巳 方山宗子 吉田 武

平成九年度 高等学校総合体育大会

第41回全国高等学校登山大会支援隊に参加して

梅津 吉田 武

高校総体（インターハイ）の登山大会については我々にはあまり知られていない。

山岳連盟が主管団体なので協力するようになった。今まで国体等で顔をあわす高体連の先生にインターハイで行われる競技について聞いても僕自身理解しにくかった。

7月のリハーサルで大体の内容をつかんだ。

8/3 府立ゼミナールハウスに宿泊していろいろな打合せをした。

8/4 北桑田高校にて開会式が行われた。

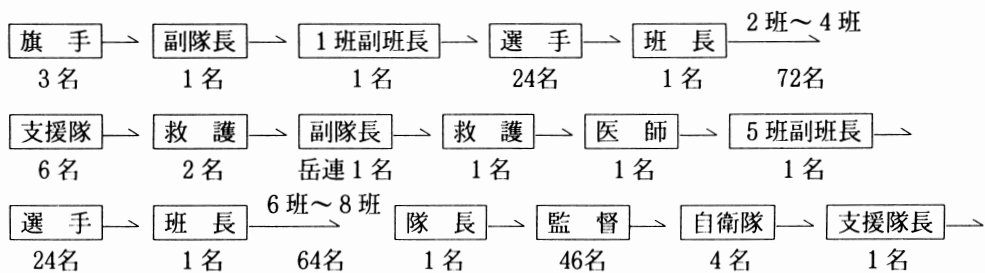
今年のなみはや国体で同じ主任審判をする滋賀の多胡さん、愛知の近田さん、大阪のS1副主任村田さんと高体連の先生方と顔を合わすことが出来た。

少しの間歓談をする。

やがて入場行進の合図があり、我々行動役員が先に入場して、次に北から選手の入場行進をする。選手4名、監督1名、各都道府県の行進が長々と続いた。

あいさつが終り今大会の審査員が紹介され開会式が終った。計画輸送にて美山文化ホールにつき、歓迎の式典があり、今日の宿舎である安掛の料理旅館「いそべ」まで計画輸送してもらった。旅館に着いて明日の支援隊としての行動予定のミーティングを行った。

ここでA隊総数255名の隊列を示す。



一列になって歩くため少しでも間が開くと1km以上になる。場所、ルートによっては旗手と僕の時間差は30分以上になる。

3日間の登山行動は以上のように隊列を組んで登山します。2日目のカズラ谷廻行だけは各都道府県の選手監督5名でのパーティー行動になる。

8/5 3時起床して安掛の「いそべ」を4時に出発、計画輸送にて頭巾山の登り口の山森三叉路に着いた。A隊は集結して順次旗手を先頭に頭巾山へ出発した。最後尾に僕はついた。

林道終点で小休止をする。班のローテーション。しかし隊長以下監督、自衛隊、そして僕はまだ林道の途中である。ここから谷筋に入るのでトラバースと岩場の通過がある。支援隊のエスコートをする箇所があるので前夜の打合せ通り各自支援隊は使命を果たせた。尾根の取付より雷雨が激しくなり雨具をつける。

頭巾山頂では雨も小康状態になり全員が山頂で小休止をした。山頂からは稜線歩きで、気持ちは良いが足元がぬかるんできた。

送電線直下にて昼食をする。O-157の関係で保健所から弁当は禁止の通達が出ているため全員パン食である。僕は朝から山菜おこわをタッパーに入れ、水を含ませて行動しているのでおいしい御飯が食べられた。キュウリの板ずりもして来たのでこれも美味かった。

ここから堀越峠まで3ピッチ程で悪場もなく足元がぬかるんでいる程度であった。峠からは昔の道なので長く、国道に出るまではいやな道であった。

8/6 今日も3時起床、芦生演習林のトロッコ道を歩きカズラ谷から小野村割岳、そして広河原下の町までである。

カズラ谷コースは、入谷してから雨俣出合まではパーティー行動で各都道府県チームは監督と共に思い思いのコースを選んで行動出来るが、前日の雨で増水しているので巻き道歩くが、ぬかるんで歩きにくい。どちらを通っても歩きにくく今日は悪戦苦闘の連続であった。

源流をはずれてから稜線に出るまでもスリッパばかりで、靴もズボンも泥だらけである。小野村割岳からの下りも滑りやすく今日は全体的に時間がかかった。

8/7 3時起床。今日で競技も終りである。ガンバって行こう。

小塩まで計画輸送。林道をソトバ峠登り口に向かって一列縦隊で歩く。旗手がスタートして僕がスタートする時間を計ったら12分程かかった。林道ははずれてソトバ峠までの1ピッチは、やまヒルの巣みたいで、今日も待っているだろうと思いながら特に下をむいて歩いたが、足元で首を伸ばしている姿はなかった。

峠より廃村八丁までは下りのコースで一ヶ所橋が老朽化しているので隊列は少し長くなった。

廃村八丁の広場では講話タイムがとられた(廃村八丁の由来等)。

廃村八丁からダンノ峠までは形部谷をつめていく。所々にコースが川になっていたり、ぬかるんだりして靴の中に水が入って来た。ダンノ峠より少し登って、いくつかのピークを越して品谷山分岐で小休止、自衛隊の通信もテントを張って交信をしていた。佐々里峠の車道を横切りまた少し登りにかかる。大段谷山の分岐までは登りで、あと灰野谷出合まで来るとあと少しで灰野のトロッコ道につく。小休止する間もなく芦生まで歩いた。

隊長より解散式が行われた。

泥だらけの靴とスパッツを水で洗って輸送バスを待った。各班長や副班長は選手に胴上げされていた。みんなやっと終わったという感じがした。

3日間天候も悪く足元も悪い中をガンバってもらったおかげで、支援隊の出る幕がなかったことが幸いであった。

京交参加者	A隊 副班長	松田 誠二
	支援隊	森本 清一
		吉田 武
	B隊 副隊長	鷺見 敏一
	救護	鷺見 壽末子

深田百名山完登

坂井久光

8/1 夕刻京都出発。名神・北陸高速と走り、2日朝米山下の海水浴場へ山崎大造氏の愛車で到着。ここで彼の友人星さん一行と待合せ。東京から医師・歯科医の一行5人が到着。海でカヌーやサーフィンに乗ったり泳いだり、もぐってサザエを採ったりしてその夜は米山山荘キャンプ場で野営。

3日朝一行と別れ、JRで長岡一小出で下車。バスで奥只見へ。途中大湯温泉で入浴。汽船で銀山湖を渡り尾瀬口へ。バスで鷹ノ巣へ。平四郎小屋は留守で軒下でツェルトで一泊。その夜は一晩中雷雨だった。4日朝平ヶ岳登山口で岳人編集部の藤原一行と出会い撮影しながら急登の下台倉山へ。何回か休み大倉山三等三角点を経てその下の水場で昼食休憩。次いで白沢水場（道端の泥道の小泉）で休み、夕刻姫池の湿原に出て中ノ岐谷源頭のキャンプ場へ。私一人で平ヶ岳を往復、湿原の林道を登り二等三角点2,140mがツガ林中に鎮座。下山後夕立に見舞われ、岳人のテントで熱いコーヒーを御馳走になり、早々ツェルトの中のシュラフにもぐり、雨もれを必死で守り就寝したが、5日朝風雨も収まり、シュラフも濡れ、コーヒーを沸かし、パンを喰べて一行と別れ単独下山。下台倉から雨となり、雨具をつけ急坂を用心して下山。10:17のバスに間に合わずと覚悟して緩り下山。鷹ノ巣の平四郎小屋で蕎麦を食べ15:47のバスで尾瀬口経由往路小出駅前で山崎さんと再会し、秋山郷のカタクリ温泉で入浴後車泊。

翌6日屋敷口から烏甲山二等三角点2,038mを往復。松虫草・撫子・赤モノ・黒豆ノ木が目を楽ませた。その夜の切明温泉入浴後秋山登山口で車泊。翌7日志賀高原の清水バス停で駐車。大沼池（青い色の美しい湖水）経由、赤石山三等三角点（2,109m）を登って、四八池経由志賀山三等三角点2,037mを登って大沼池に出て駐車場へ。

その夜は草津温泉で入浴後車泊。翌8日四阿山を目指して菅平の牧場で駐車。長い牧柵林道を

雨中を登り、百名山99目の二等三角点2,333mへ。道端にイブキジャコウソウや白山フウロ、松虫草が美しく咲いていた。その後山麓の四阿ホテル前で昼食休憩後、鹿沢温泉で入浴後、車坂峠を越えチェリーロードを下って浅間山荘前で車泊。翌9日8時出発。一の鳥居から不動の滝―避難小屋で休憩後湯の丸平（松虫草・塩ガマ・撫子・日光キスゲ・クガイ草等の咲乱くお花畑の境界線を越し、樹林帯を通り越すと岩礫帯のジグザグの急坂で台風（後で知った）の余波か強風が吹きすさび立っておられぬ位で、岩陰で避けたり、葡萄のようにして登り漸く2,568mの百ヶ目の浅間山へ。二人で感激の握手後、往路下山。浅間山荘の天狗の湯（有間温泉と同じ褐色）で入浴、その後丸子へ向う。途中キノコノ森で休んだりしてその夜はドライブインの焼肉店で百名山登頂祝を二人でして、白樺湖畔で車泊。翌10日諏訪インターから中央高速―名神と走って10日夕刻京滋バイパス経由京阪宇治で下車、10日間の山旅を終えた。

例会報告

例会 No	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2140	鈴鹿山脈 霊仙山	7月19日		馬淵 拓巳		都合により延期しました。8月30日(土)に再行の予定です。
2141	京丸山, 高塚山, 蕎麦粒山	7月19日 ~20日		岡田 茂久	大槻 雅弘 方山 宗子 松浦 健治 三橋 勉 渡辺 智生	(別稿詳報)
2142	夏山大会 北アルプス	7月24日 ~26日		吉田 武	渡辺 智生 井戸 澄夫 方山 宗子 馬淵 拓巳	台風接近のため日程変更しました。 (別稿詳報)

報 雜

△△△ 8月の集会

日 時 8月11日(月) 18:30～

場 所 厚生会館 4F 大教室

出席者 (本局) 岡田, 井戸, 方山, 松浦
(梅津) 吉田 (竹田) 大倉
(OB) 坂井, 渡辺

以上8名

内 容 例会報告ほか

△△△ 7月の企画運営委員会

日 時 7月16日(水)

場 所 厚生会館 4F 大教室

出席者 井戸, 吉田, 大倉, 三橋, 山元, 馬淵

内 容 例会予定, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

5月号 わっぱ

8月号 近畿山行, 趣味の登山, 木雞, 北山, 京都山岳, 比良山岳



家庭用品 } 総合卸商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本店 京都市南区上鳥羽大物町13番地
☎601 電話 (075)672-6101(代)
FAX (075)661-7332

八坂運送有限会社

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4
TEL (075) 571-1108

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所
下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

●登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カヌーをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



LODGE 株式会社 **ロッジ**

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports

ハイキング&キャンピング・クライミング
アウトドアウェア・US製用品
ポータブルカフト用品

Mountain

〒604 京都市中京区三条通河原町西入
TEL 075(258)-0548
営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休
(株) スポーツ コニシ

よしずい
葦の髄から天井を覗く… ⑳

久方振りに倉敷を訪ねた。倉敷川が流れ大原美術館、考古館、民芸館が軒を連ねる「くらしき美観地区」は歩行者道路になり車の排ガス、騒音から解放されて、何か時間がゆったりと経っていく。中央大通に広いスペースをとった駐車場がありバス、マイカーを収容するいわゆるパークアンドライド方式だ。車公害、CO₂公害に悩む観光都市我が京都も行政の主導で思いきった施策が望まれる。CO₂sまであと100日になった。

制作 (株) 北斗プリント社
〇七五―七九一―六一二五
(文責 波多野)



建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
各種地図製作並びに印刷
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

株式会社 小林地図専門店

〒600 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入る(3軒目北側)
☎(075) 351-6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
TEL (075) 771-3442

平成9年9月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部